

各位

党派を超えて国家的課題を追求する  
公益財団法人協和協会  
時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信夫  
両団体理事長 半田 晴久  
新エネルギー委員長 中島 稔  
両団体専務理事 清原 淳平

## 新エネルギー委員会のお知らせ (第306回)

日時 平成28年12月6日(火) 午後1時半～4時

場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第4会議室

千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第4会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議題
- 1、最近の再生・新エネルギーについて想う  
挨拶 中島稔新エネルギー委員長
  - 2、電流発生菌と水中生物多様性について  
解説 中村龍平理科学研究所チームリーダー
  - 3、『新エネルギー関連ニュース NO. 161』  
解説 中島稔新エネルギー委員長

報告 去る11月10日開催の第305回新エネルギー委員会は、中島稔新エネルギー委員長が議長を務め行われました。

まず、清原淳平専務理事より、本日の講師・資源エネルギー庁長官官房総合政策課・大石知広調査広報室総括課長補佐の経歴紹介がありました。次に、中島委員長より、開会挨拶「最近の再生・新エネルギーについて想う」として、アメリカでドナルド・トランプ氏が大統領に選ばれた。アメリカだけよければいい、という一国主義を選挙期間中に展開していたので、原油価格はどうなるのか？日本にどのような影響があるか？非常に心配している。

次に、大石課長補佐より、「国内外のエネルギー動向、及びわが国のエネルギー政策」と題して、以下の趣旨の解説がありました。東日本大震災以降、原子力が0になり、火力発電が増加した。その原料となる天然ガスは海外からの輸入に頼っており、エネルギー自給率はOECDで下から2番目の6%となっている。今後は、徹底した省エネと共に、再生エネルギーの活用と原子力発電の再開によって震災前の水準以上の25%を目標に政策を進めて行く。再生可能エネルギーの固定価格買取制度も、再生可能エネルギーの活用促進における対策の一つである。その他最新の政策として、JOGMECが保有する海底三次元探査船「資源」の民間への貸し出しを可能とする等の法案を現在国会で審議中である。保有から7年が経過し、操船技術も日本側に移転した事でもあり、民間企業による海底油田の探査にも活用できれば、より資源確保が可能となることを見越したものである。

次に、中島稔委員長より『新エネルギー関連ニュースNo.160』の解説がありました。今回は、○燃料電池とガスタービンの複合発電の実証機稼働開始。○廃プラスチックから水素とCO<sub>2</sub>の合成ガスを作り、燃料電池車を走らせる試み。○ポケットで水素を運べるプラスチック。新しい水素貯蔵材料へ期待。80℃に加熱すると水素ガスを放出することも分かった。○光触媒を使って水から水素を生成する人工光合成で、世界最高水準となる3%の変換効率を記録した。○太陽電池の発電効率を最大2倍に。太陽光の追尾型。○年間5000万羽の鶏の糞で、1万3千世帯分の電力をつくる。飼料におがくずが入っているのでそのまま燃焼でき、燃焼した後の灰には肥料に使えるリンやカリウムを含んでいる。○地下水を使わない地熱発電システム。○小水力発電により、発電量を年間1000億KW増やせるなどの興味深い提言を行っている、などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

★レクチュアにつき、当日会費 千円 にご協力お願い申し上げます。  
次回、12月6日(火)の新エネルギー委員会に

出・欠 (いずれかに○印)

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様のFAX \_\_\_\_\_

**テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。**

**参加希望者は、予め履歴書をご提出下さい。**

**事務局宛FAX 03-3507-8587**

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール [kiyohara@jidaisassin.jp](mailto:kiyohara@jidaisassin.jp)